

通曹
信青

いわて

第一回 教養セミナー

令和二年度はコロナ禍により、多くの行持が中止となった中、令和三年二月二十五日、令和二年度初めての岩曹青行持として第一回教養セミナーが開催されました。

今回のセミナーには水沢 正法寺山主 盛田正孝老師をお招きして昨今のコロナ禍、東日本大地震のような災害が起こった際に、社会や檀信徒とどう向き合うべきか、僧侶としてどうあるべきかをお話ししていただきました。

「あなたならどうお答えになりますか？」

セミナーでの盛田老師のこの一言にはつとさせられた。東日本震災は皆記憶に新しく、日本中の誰もが忘れられない出来事です。この震災で盛田老師の処に一本の電話が舞い込んできた。それは「両親の遺体がまだ上がりません。ついては、両親は成仏できるのでしょうか？」この真剣な思いに対して、気休めではなく宗教者としての答えが問われていました。私ならつい「大丈夫ですよ、よい人でしたからきっと成仏しますよ。」そんなまさに気休めの答えしかできない自分が目に浮かんだ。

「衆生仏戒を受ければ、即ち諸仏の位に入る、とあるように成仏できます。」この言葉がすつと出てくるだろうか。ふと修行中に教わった言葉が脳裏をよぎりました。

『修行と修業があるように、業（わざ）はできなければなりません、業を裏付ける仏法の学びがないと、業は業だけで終わってしまふ。私たちは行ずるのみです。』

その時は意味が分からず、できるに越したことはないなと思っていました。しかし評価

に一喜一憂し、振り回され、比べ合い、競い合い、そんな世界に住しながら、そうではない世界に在ろうとする。一仏両祖の御教えをその指針とし体現しなければ、何も応える事ができない。一仏両祖の御教えを体現する為にこそ私たちはいるのだと気づきました。

盛田老師は続けて、ある家族の三人兄弟のお兄ちゃんに障害があり、三番目の妹は兄のことのでいじめられていたお話しをされました。母親は思い悩み何度もお兄ちゃんを背中に背負って電車で飛び込もうと思ったそうです。しかし母親は「誰に何と言われようが、私にとつてお兄ちゃんはお経なんだから。」と話したそうです。息子がいる事で思い悩み苦しむ、しかし息子がいることで、ただ生きていることで救われる、道を間違えそうになっても戻って来れる。息子は人生の指標、つまり母親にとつてのお経なのだ。まさに菩薩としての生き方そのものであると感じました。

大規模災害やコロナ禍において専門家でもない私たち僧侶に出来ることは少ない。ただ、出来る事がゼロではない。盛田老師がおっしゃった「自分が為すべきことを為せばよい。」災害だけでなく生きていく上での様々な問題に向き合うには自分の指標を持たなければならぬ。一仏両祖の御教えがまさにそれであると。

自分と向き合い、また仏法との向き合い方を見つめなおす、沢山の気づきを頂くことが出来たお話しでした。

発行者 岩手県曹洞宗青年会 鈴木道将

発行所 岩曹青事務局 二戸市浄法寺町寺ノ上28 (福蔵寺内)

TEL 019513812149

FAX 019513812149

題字／宗務所長 佐々木端瑛

編集／事業部

東日本大震災慰霊復興祈願

東日本大震災慰霊復興祈願法要 於 釜石市・常楽寺 山田町・龍泉寺



東日本大震災慰霊復興祈願写経納経 於 福島県・成林寺



全国東日本大震災慰霊復興祈願オンライン法要 於 一関市・長泉院 岩泉町・宗得寺



東日本大震災から10年・・・

・今回、この東日本大震災から十年という節目に、山田町 龍泉寺住職である石ヶ森桂山老師にその道のりを振り返っていただき、青年僧侶へその想いを綴っていただきました。

「心を催せ」 こころ もよお

今も尚、壮絶な思いから立ち直れずに居られるであろう方々、それは生きることと縁を繋ぐこととなられた方々だけではなく、そうではなかった余りにも多くの方々へ、先ずは衷心より変わらぬお見舞いとご冥福を祈念申し上げます。

十年という歳月は受け取り方で其々です。国家も国民も全世界も、先の大震災には多くの真心と関心を寄せていただいたことは心からの感謝と併せて非常に大きな変化を感じたものです。ハード面では大方の復興目処は見えて来ている様は衆目と存じます。ソフト面では今後も時間の掛かる問題は、現在進行形で次々起きてしまった災害、今後の出来事への活かし方など課題多き事を如何に自分事に落とし込んで行くことが出来るか、などと考える事もあります。

正直に申せば恥ずべきこの身は阪神淡路震災として新潟中越地震として己が身に替えて捉える事すら薄かったと思うのです。ただ、事及ぶに至ってはその時その時を、それこそ催すが如くに行動して参りました。只々良かれと思つて、只々安心してくれたら良い、只々喜んでくれたら良い、只々話に耳を傾けて側に居てあげれたら良い、

い、只々一人ひとりを大切に送りたいかった：

比ぶべきに非ずかも知れませんが、私の宗侶としての姿勢の柱は亡父との別れの時に在ります。心電図の停止と腕時計を確認し主治医が無機質に「何時何分御臨終です」と告げたあの瞬間です。月日とは儚くも真実の力を持つものだとも思っています。あの三十年以上前の私にとっての壮絶な思いは消え去る事なく記憶に留まっています。ただ、以後の行事や整えるべき事を、多くの大先輩方の温かい助けがどれ程この身と心の安心となつて来たことか。助けられたこの身も、他で同じく哀しみ苦悩に行き会ってしまった方々の心の支えの一助になれたら良い。

経験した者だから少しだけ解つてあげられる事は何か。苦悩や苦勞はその為にこそ有るのだらうと思うのです。さりとて経験云々も実はあまり捉われないで欲しいとも思うのです。只々、我々は宗侶として福田衣をいただく者として、その時その時に催す心が結果、同事であつたり布施であつたりと自然に繋がつていたら良いではないか。肩の力が入り過ぎない方が良いと思うのです。その時その時に相手の立場に立つて心を催せたら良いと思うのです。生理現象を催すが如くです。

限りある誌面では言葉も足りぬと思います。遠慮なく懇親を深めつつ思いを紡いで繋げて参りましょう。

合掌

・慰霊法要の導師を務める石ヶ森桂山老師



教区たより

一教区

コロナ禍で、第一教区内の行事や寺院法要は軒並み中止、延期または縮小されております。病禍のいち早い終息を願っております。

四月、東慈寺二十二世 東堂 駒ヶ嶺泰生老師が御遷化されました。

同じく四月、清養院二十七世 住職 稲田泰鱗老師が御遷化されました。

八月、永昌寺十八世 東堂 藤本徳文老師が御遷化されました。

十月、清雲院退董晋山式が行われ、三十六世 高田裕功老師が退董され、高田正太師が新命住職として晋山されました。

十二月、長松寺二十一世 住職 斗ヶ澤祥悦老師が御遷化されました。

二教区

令和二年度開催予定の諸行持は、新型コロナウイルス感染予防に伴い全行持が延期・中止の対応となりました。

新型コロナウイルスの一刻も早い終息を願ってやみません。

三教区

二月五日、鳳林寺二十一世 高田静隆老師の密葬が厳修されました。

九月二十九日、福蔵寺様に於いて両祖忌を執り行いました。

十月十一日、浄福寺 副住職 和山晃樹師が結

婚披露されました。

十月二十八日、福蔵寺様 庫院落慶・先住忌法要を執り行いました。

・来年度の行事予定

五月に聖福院様 結制・先住忌法要

六月に地蔵寺様 退董晋山結制法要

九月に大聖寺様に於いて両祖忌法要

四教区

令和二年度は、コロナ禍により第四教区でも各行事が中止や延期になりました。

各御寺院様におかれましては本来行われる予定でした、両祖忌や晋山式の延期により大変な思いをしております。

一刻も早い終息と、行事開催を願ひ、第四教区の報告とさせていただきます。

五教区

第五教区の昨年の行持は、新型コロナウイルスの影響により中止、または内献となりました。

十一月三日、萬松寺 小原歩道師が住職になりました。

六教区

令和二年度は、世界的に新型コロナウイルス感染症流行拡大のため毎年恒例の行事は行うことができませんでした。

十二月二十九日、松山寺先住寺族様の葬儀が行われました。

令和三年一月九日、龍徳寺 宇津野則昭老師が遷化され一月十日・十二日、密葬が厳修されました。本葬は未定となっております。

七教区

昨年の七教区の諸行持は新型コロナウイルス感染症予防に伴い全てが中止となりました。

その他、七教区では赤萩 要津院 福山圭伸師と真柴 瑞川寺 斎藤篤仁師がそれぞれ、住職となりました。どちらも、晋山式はコロナ等の理由で未定となっております。

八教区

昨年は十月十七日・十八日に東安寺様に於いて晋山結制法要が執り行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の為、令和三年十月三十日・三十一日へと延期になりました。

その他、各法要・行持等も中止、延期または山内のみでの厳修となりました事を御報告させていただきます。

九教区

第九教区では、昨今の新型コロナウイルス蔓延の影響を受け、例年行われていた行事等も中止を余儀なくされ、教区青年会でも話し合いの場を設ける事すら難しい状態が続き、「各寺院での出来る範囲での活動を続ける」という形になりました。

この情勢の中でお檀家様の不安を少しでも取り除けるよう、法事・葬儀等での対応の工夫、日々のご挨拶などを徹底し、宗門僧侶として各々が動き、ウイルスの脅威が去るまで尽力しようと呼命に動いている状況です。

まだまだ先行きは見えぬ状況ではありますが、第九教区青年会員一同、出来る範囲での

活動の中で宗門の教えを通じ、地域の方々と協力して乗り越えていきたいと思っています。

十教区

十月五日・六日、江岸寺様に先住の大萱 生秀明大和尚本葬・落慶法要を予定していましたが新型コロナウイルス感染拡大を考慮し令和三年以降への延期となりました。

十一月二七日、曹源寺前住職 菊池章道老師が御遷化され、十二月二日密葬が厳修されました。新型コロナウイルスの為本葬は未定となっております。

今年の予定と致しましては六月に光明寺様に於いて晋山式・先住忌法要を予定しております。

十一教区

六月八日 善勝寺様にて、令和二年度青年会総会が行われました。

その他の行持は新型コロナウイルス感染症防止の為、やむを得ず中止となりました。

令和三年度は、昨年度の思いも乗せて活動出来る事を心より願っております。

十二教区

第十二教区の昨年の活動報告といたしまして、十一月に第三教区様と合同で人間ドックを行いました。

その他の諸行持は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

なお今年の行事などは未定となっております。